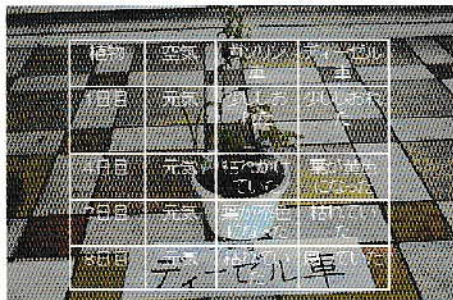


遠賀川流域通信

発行日 2005年3月1日 発行責任者 NPO法人 遠賀川流域住民の会 理事長 窪山邦彦

「見つめよう 守ろう 私たちの環境」
田川市立田川小学校5年生



空気・ガソリン排気ガス・ディーゼル排気ガスで植物を育ててみた。ディーゼル排気ガスで育てた植物は7日目では枯れ、8日目では腐っていた。

【水質調査隊】は近くの池や水路や田んぼの水を取ってきてCODなどを調べました。
【空気グループ】は掃除機の先にガーゼを着けて普通の空気とガソリン車とディーゼル車の排気ガスを吸って、汚れ具合を比べました。一目

5年生全員でケナフを育てたり、ゴミ拾い登校をしているそうです。もっと住み良い田川にしたいと言う子ども達の情熱が伝わってきました。

空き缶回収グループ
あまりにもゴミが多いから、ゴミが減らないのであきらめた時期もあった。地道な取り組みだけど、いっしょにしていれば、かき人が増えていけば、かく実にゴミがへってリサイクルに回すことができる。

家電リサイクルグループ
家電リサイクル料は、高いようだけど、有害な物質や不要な物を処理し、新しい商品に生まれ変わることができる。だから、家電リサイクルをすることにした。

毎日、スーパーでビニールぶくろを1枚ずつもらったとしたら
(1枚1.5円とすると)
1.5(円) × 365(日) = 548(円)
クラス全員の家に置きかえてみると
548円 × 36人 = 19,728円
これだけのお金を商品代と思って払っています。



瞭然、ディーゼルは真っ黒くろすけ！また、空気だけ、ガソリン排気ガス、ディーゼル排気ガスの中で植物を育ててみたところ、左の結果が出ました。
【レッツGO 行くぞ守るぞゴミ調査隊】は近くの公園や道でゴミ拾いをし、ゴミの内容を調べました。

品名	新しく作った時 (100%と考え)	リサイクル	節約
アルミ缶	100%	3%	97%
スチール缶	100%	35%	65%
ペットボトル	100%	30%	70%

アルミ缶の新品を作るのに、100エネルギーがかかる。けどリサイクルすると、3のエネルギーですむ。40人がリサイクルすると、3,880エネルギー節約できる(お得です！)
(100-3) × 40 = 3,880

	A店	B店	C店	D店
1枚あたりの平均の値段	1.5円	3~4円	2~4円	1.3円
年間使用枚数	50万枚	45万枚	150万枚	400万枚
年間のビニールぶくろ代	75万円	180万円	600万円	452万円

ぶくろ代は、品物に少しずつのせられています。

・猪位金の近くでは、あるスーパーの前の酒屋がどんな酒ビンでも1本5円で引きとってくれる。

①ごみとして捨てる前に、他の使い方を工夫する。
②デポジット制度のある品物は、取りあつかい店に持っていく。
・デポジット制度の活用は経済的だし、何度も使うことで、ごみが増えない良い方法だ！
・猪位金の近くでは、あるスーパーの前の酒屋がどんな酒ビンでも1本5円で引きとってくれる。

遠賀川流域住民の会 活動報告会開催

平成十六年度「遠賀川流域住民の会活動報告会」を十二月十一日(土)飯塚市のがみブレジデントホテルで開催。今年度は中越地震の災害をはじめ自然の驚異を感じた年でしたが、そのような中で、遠賀川大水害の復興と共に嘉穂劇場の再興は遠賀川流域住民に元気を与えてくれました。今回の報告会では、各団体の取り組みに併せて、小学校5年生が身近な環境問題をテーマに、実験・調査報告が行われました。子ども達の、皆が実践することで、住みよい社会を目指していきたい、という意気込みを感じました。

リサイクルチーム

エネルギー節約グループ
せいの品を作るのに必要なエネルギー効率を調べた。

リデュースチーム

マイバックグループ
スーパーのふくろをもらわずに、自分のバックで買い物をする。各スーパーのふくろがどのくらいするのかを調べた。

リユースチーム

リデュースグループ
ふだん家庭で使っている物で、つめかえのできる物、つめかえて使う。つめかえのいいところは、①ゴミの出る量が少ない！②つめかえの方が安い！というところがおすすめ！

「これならできる！猪位金環境プラン」
田川市立猪位金小学校5年生

各団体の取り組みの成果報告をしていただきました

遠賀川再生イベント

川舟で楽しくわいわい遊ぼう

川船製作研究会 久津輪 勝男



遠賀川大水害から1年、復興を支援し、遠賀川に元気を取り戻そうと7月18日～19日「遠賀川再生イベント」を実施しました。

川舟による体験試乗会、水環境の講話、水質検査、バーベキュー、夜なべ談議、キャンプ等の他、水害掘削の区間である穂波川桂川から遠賀川鯉田井堰まで川下りして、水環境や生態系の調査をし、新たな川の在り方として提案しています。

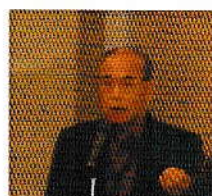


いなつきの環境を考える会

荒木 紘子

遠賀川の浄化を目標に、使用済み天ぷら油からきれいな石けんを作り、アクリル100%の毛糸でタワシを編み、洗剤を出来るだけ使用しない生活のすすめ、実践し、町のミニスポットに花植え清掃、水辺の見回り清掃、小学校の環境学習のお手伝い等々いつの間にか10年余り経ってしまいました。

機会あるごとに「命の水の大切さ」を訴えながら、自然農法の見直し拡大なども広め活動していきたいと思っています。



ひこさんがわ 夢の会

大久保 琢磨

平成9年2月に、彦山川で多自然型護岸工事が完成し地域の住民の皆さんが自然型護岸に関心を示していた。護岸はきれいだがゴミがたくさん見えた。そこで、3月上旬に2人で河川清掃を呼びかけた。

川が大きいので多人数ですればと思い、何かアピールして川に関心ある人を見つけるため、秋に河川敷でコンサート(町内のコーラスグループ)、春には鯉のぼり掲揚、上野焼の陶芸教室を開催しその作品を野焼き、間鳴の飼育等を取り組んだ。会員は60名ぐらいになり目的は達成した。

経費も必要になって年1,000円の会費で運営している。2年目からは毎月第二十曜日朝8時から2時間ぐらいの作業時間であるが、毎回約30名ぐらいが参加している。

毎年、小学校4年生、中学校1年生の環境学習会に参加、子ども達と一緒に河川清掃活動を行っている。



遠賀川の水質に関する市民意識調査の結果発表

近畿大学 依田 浩敏

2003年2月に遠賀川流域圏の住民2000人を対象に遠賀川の水質に関するアンケート調査を実施し、756票が返信されました。

その結果、①水道の水質向上を目的とした河川水の浄化である利水が最も望まれていること、②水質悪化による悪影響として下流は水道水の水質、上流は生態系があげられていること、③中流域では水質向上事業として「市民の意識を高める」が他地域より多かったこと、④水道水が悪化している原因は生活雑排水であることが認識されていること、⑤環境仮想評価法を用いると、水質がBODで5.0mg/Lから1.0mg/Lに向上する価値は回答者一人あたり10,150円であったこと、⑥河川流域圏単位での整備は必要であること、などが明らかになりました。

堀川一斉清掃等の事業(堀川コラボ)報告

ネットワーク北九州地球村 松田 寛



堀川は、1621年に黒田長政公が計画して開削が始められ、1804年の北九州市八幡西区楠橋地区にあります寿命唐戸の完成をもって全線開通し、水運や灌漑で地域住民の暮らしを支えてきた全長12kmの運河です。

今後のまちづくりの重要な要素でありながら、現在は排水溝としての役目しか果たしていないこの川を、もっと流域住民に愛される川に蘇らせるため、流域自治体(北九州市、水巻町、中間市、福岡県)が実行委員会を組織し、平成13年に事業を開始いたしました。以来シンボウウォークラリーや河川の一斉清掃等を実施しております。

活動内容・報告

【河川一斉清掃】(10月3日 実施)

堀川を愛する会(折尾)の会長であります重藤一氏が行政に呼びかけて実現、2004年度、河川清掃での各地区のゴミの量は以下のとおりです。

北九州市(折尾地区)4トン

水巻町 1トン 中間市 2トン

参加者は、北九州市2500名、

水巻町20名、中間市30名

※折尾地区では、自転車のほたり捨てが大量にあり中間市地区では、八幡西区が発効した北九州市民カードがあった始末です。

【堀川サミット】(10月17日 実施)

ネットワーク北九州地球村の松田氏が提案し、実現堀川再生の会・五平太グループが中心に実行委員会が結成し、実行されました。先進都市事例発表、分科会、全体会があり参加者500名以上でした。

*マスコミも注目されており大盛況で、活発な討論がなされました。有意義でした。

緑川（熊本県）の研修視察報告

遠賀川流域住民の会一行（参加者十一名）は平成十七年一月二十九〜三十日（土・日）に緑川情報室を訪問し、緑川の一斉清掃活動や流域の文化などを学びました。



緑川情報室を訪問

緑川は、九州脊梁に源を發し、熊本平野を東西に流れ、有明海に注ぐ、長さ七十六km流域面積千百k㎡で二十町にわたり、四十八万人の人々が生活をされています。まず、研修先の緑川流域の情報発信の拠点、緑川情報室（国土交通省緑川下流出張所敷地内）で緑川流域連携会議の浜崎副会長と岡事務局長から緑川の活動報告の説明を拜聴し、流域の主要箇所を見学させていただきました。

緑川流域一斉清掃と交流Eポータル大会について

清掃活動のおこりは、平成二年に有明海の「あさり」が消えたことに端を発し、漁民の森づくりを通じて、流域連携の組織が誕生して第一回一斉清掃活動が行われました。この活動に対し、流域住民から問い合わせがあることから、

緑川の支流・加勢川にある同施設を沢登りの達人で、この学校の指導をされている笑顔がさわやかな宮地 元さんに説明をして頂きました。

リバーパーク「鯰の学校」を視察



リバーパーク「鯰の学校」を視察

平成十五年三月に完成したこの水質浄化実験施設、ピオトープ池は、加勢川の水を池に取水して生えているシロカヤツルやル材で水を浄化し、きれいになった水を川に戻す施設です。特筆すべきは取水は、ソーラーシステムを利用、一・五キロワット以上の発電で自動的に作動するそうです。また、炭が水質の浄化作用をもっていることから施設内で炭焼きを行い、その炭は加勢川に沈めるそうです。炭の材料は有明海の「のり養殖場」の竹の廃材などを使い、子ども達に竹炭の作り方の指導をするなど体験学習に取り組みられています。

ら、第二回からは流域市町村役場と連携して活動が展開されています。清掃活動終了後、「交流Eポータル大会」も盛況に開催されています。

EとはExchange（交流） Eco-life（環境に優しい生活）

などの意味がある。流域市町村からは百二十団体、一方五千人がメイン会場から流域の各地域・団体ごとに活動が拡がり各市町村役場が間合せ先になるなど、行政との協働歩調が確立されているところが我が遠賀川との差異だと強く感じました。もともと、緑川流域市町村は町づくりなどで、以前から互助精神があつたようなことを言われていました。

津志田河川公園（甲佐町）を視察

通称【乙女河原】として、アウトドア志向のグループやファミリーの人気を集めている「津志田河川自然公園」はキャンプやバーベキューを楽しむ場所が広い河原のあちこちにあり、大人も子どもも思いっきり駆け回って遊べる場所です。所々に「水難救命具格納庫」があり、おぼれた場合に近くにいる人が救命用の



水難救命具格納庫

浮輪や救助用スロープを使い、対応する施設があります。

石橋群を視察

熊本県には全国の石橋の四割があるといわれています。その中でもこの緑川水系は石橋の宝庫で大小合わせて六十基の石橋が現存し、中でも通潤橋や壺台橋など約百五十年前の石工の技術に感服しました。



壺台橋



通潤橋

天然湧水プール・中無田開門を視察

阿蘇山から湧き出る「天然のプール（嘉島町）」で、年間水温が十八度という、ちよっと我慢すれば冬でも泳げそうなプールです。中無田開門は、水位差のある緑川と加勢川を船がスムーズに航行できるように、昭和十七年（一九四二年）に建設されたそうです。規模的な比較はできませんが、パナマ運河も同じ形態では、こちらは一九一四年開通。



中無田開門



天然湧水プール

視察を終えて

緑川に清流を取り戻す運動に係る組織形態と、すばらしい文化を視察し、非常に勉強になりました。遠賀川も地理的条件などで、緑川とは違った歴史・文化があり、誇りに思っています。ふりかえりながら、緑川を後にしました。



類白(ホオジロ)

ホオジロ科

およそ日本国内ではどこでもいるという種である。しかもいつも小高いところの目立つ木の梢で囀っている。チンチロチチチロチチチロチチチピロ

チュビイという囀りを朗らかに繰り返している。さすがに秋から真冬には七〜八羽集団でチチチツと地鳴きをする程度だが、二月ごろにはすでにペアができているらしく二羽で見かけることもある。とくに雄は小高い木の梢で終日気持ちよさそうにいつまでも天を仰ぐように囀っている。里山の囀りの名手といっても差し支えないであろう。四大銘鳥の一つ。ホオジロというけれど実は顔は類黒で眉線が太く白いのが目立つ。そして類の下部が僅かに白いのでホオジロなのだろ。昆虫の幼虫や草の種

近年、遠賀川中流までサケが遡上してきたことがきっかけで嘉穂町ではふ化・飼育アドバイザーの青木宣人さんや地元の間田たちが受精卵からふ化・飼育を行い、遠賀川流域の各地で放流していましたが、平成十五年度からNPO法人「遠賀川流域住民の会」がサケの飼育体験を通して河川の環境教育に役立つとして継承して行うことになりました。

遠賀川上流の嘉穂町では全国で唯一「鮭神社」があり、昔、上流までサケが遡上していたことから鮭を神の使者として祭っています。この鮭神社では毎年十二月十三日に献鮭祭が行われ、鮭を奉納して豊作を祈願する行事があります。

遠賀川流域の各地域では、五〜七cmに育ったサケの稚魚を、四年後、生まれ育ったふるさとに帰ってくることを願って子ども達と放流します。



サケの受精卵



サケの稚魚

今年度も平成十六年十二月十三日の献鮭祭の日には国土交通省遠賀川河川事務所のご支援により受精卵を頂き、嘉穂町馬見地区のふ化・飼育場の外、地元の小学校や山田市、桂川町の有志が青木さんの指導の下でふ化・飼育体験を行います。只今順調に育っています。



ふ化槽と飼育槽

二月には五〜七cmに育った稚魚を遠賀川流域の各地域で放流し、海水温の低い日本海から北海道、アラスカ、ベーリング海を回遊して四年後に川に帰ってくることを子ども達と一緒に願いを込めて放流します。

落穂等を食べている。

高槻のこずえにありて類白のさへずる春となりけるかもしと、という島木赤彦の歌で春の野鳥ということになったらしい。

囀りの調子をもっとも整うころ、チツチビーツツ、チチツツ、チチツツを繰り返すので、関東では「二筆啓上仕り候(そろ)」。関西では「源平つっじ・白つっじ」を聞きなしたとするのが有名であるが、最近では「札幌ラーメン味噌ラーメン」などという子ども達もいる。

日本野鳥の会筑豊支部
松尾節朗

展望台類白逃げもせずには鳴く
類白の声中ノ鳥を独占す

森田 峠

松尾 節朗

平成17年3月度 サケの稚魚放流団体一覧表 (2月末現在)

期 日	放流時刻	放流団体名	参加人数	放流場所	代表者名	電 話
3月12日(土)	11:00	川船製作研究会	30人	飯塚市川島(河川事務所飯塚出張所)	久津晴	090-2097-2982
3月13日(日)	13:00	遠賀川源流の森づくり	100人	嘉穂町大字大隈町 下益橋下	森	090-8225-2829
	15:00	いなつきの郷を考へる会	100人	朝水公園(旧稲葉高校裏)	荒木	090-6428-7720
3月14日(月)	11:00	なかま三世代ふれあいの会	40人	中間市役所前	杉野	050-1175-9584
3月16日(水)	10:30	飯塚市目尾小学校	170人	J.R.鮎田駅付近の鉄橋下	樋山	090-9070-0595
	14:00	ひこさんがわ夢の会	100人	市場小学校前(1昨年に住民交流会イベントより1k下流)	大久保	090-9577-8298
3月20日(日)	9:30	矢野川を清流に戻す会	60人	えびの駅下池2〜3ヶ所	山内	093-282-3633
	11:00	遠賀野鳥会	50人	芦屋町3号線下	梶原	090-4774-7381
3月21日(月)	9:30	桂川町土師子ども会	20人	桂川町土師泉河内川口中橋	大塚	090-5086-3875
3月26日(土)	11:00	芦屋町教育委員会	60人	河口橋上流50m	水學	093-223-0731 090-9073-7900
					菅野	090-1513-7291

インフォメーション

遠賀川源流の森づくり植樹開催の案内

日 時 平成17年3月13日(日)
午前8時30分受付開始
場 所 大隈小学校グラウンド集合
主 催 遠賀川源流の森づくり推進会議
申込先 嘉穂町役場 農林整備課 林政係
(用具の準備の為事前に申込が必要)
電話 0948-57-1967
FAX 0948-57-4020

母なる遠賀川にあなたのやさしさを

NPO法人 遠賀川流域住民の会

理事長 窪山邦彦

事務局長 植木康太

問い合わせ先

TEL・FAX 0947-45-0594

ホームページ <http://onga.sabax.jp/>